

令和4年度第1回 唐津市総合教育会議 結果概要

1 日時

令和4年9月5日（月） 午前11時から午前11時50分まで

2 場所

唐津市役所 本庁舎4階 大会議室

3 出席者

峰市長、栗原教育長

富永教育委員、宮崎教育委員、篠原教育委員、石山教育委員（6人）

4 事務局

〔政策部〕堀田部長、藤田副部長、通山係長、犬丸副主査

〔教育委員会事務局〕草場部長、中山副部長、坂口副部長、古場教育総務課長、栗本学校教育課長、古川学校支援課長、山崎学校給食課長、藤井近代図書館長、森係長、川崎係長、江頭主査

5 議題

公民館の今後のあり方について

6 概要

地域の核となり、持続可能な地域づくりに貢献する施設としての役割を果たせるよう、公民館の今後のあり方について教育委員会事務局より説明が行われた。

意見等は次のとおり。

（富永委員）

公民館長は地域住民にとって心の拠り所となる重要な役割を担っている一方で、避難所が開設されたときは公民館長が不在となるので、不安に思う方が多いのではないだろうか。

(峰市長)

普段は公民館の職員が常駐しているが、災害時は避難所運営のために編成されたグループの市職員が対応している。縦割り感があるというか、そうしたところも見直したいと思っている。地区によっては、公民館長を非常に頼りにされており、大きな役割を担われている。

ところで、公民館において Wi-Fi の整備を進めているところであるが、公民館での利便性はどう変わるだろうか。

(富永委員)

パソコン教室などの講座においては、非常に便利で、特に活用されるものと思っている。

(栗原教育長)

そうすると、公民館の利用者の幅が、若い世代まで広がるのが期待できる。

(富永委員)

この先、建替えの時期を迎える公民館もあると思うが、どのような造りにすれば人が集まるかというのを検討してみたい。

(峰市長)

公民館の利用状況を踏まえつつ、地域の方に安心安全を与え、期待してもらえるようなあり方を検討したいと思っている。

(宮崎委員)

生涯学習の拠点でもある公民館は、老若男女多くの方が集う大切な場所であり、今後さらに発展させるには、公民館の職員体制をしっかりと充実させることが必要ではないか。

(峰市長)

地域の方の学びの場、地域づくりの核となる施設でもあるので、しっかりと対応していきたい。

(篠原委員)

老人会や子ども会などの地域ネットワークは衰退していく傾向にあるが、それを繋ぎ止める核の役割となるのが公民館である。ハード整備も大切なことであるが、ソフトの方、人の方がより大切であり、公民館長をはじめ従事される職員の質と意欲をいかに高めるかが重要ではないだろうか。地域のネットワークをどう作るかというのを考えていくには、地域づくりのノウハウを身に付けた人材が必要だと思っているが、これからの地域やコミュニティの活性化をどうするかというのを考えていくのは、素晴らしいことだと思っている。

(石山委員)

公民館を利用する機会が多いが、その中でも記憶に残っているのが、婦人会、子ども会、老人会などの様々な方の参加で賑わった年末の餅つき行事である。餅づくりの行程から年末の準備など、地域で子どもたちに伝統を教え育てていると感じた。地域の連携があるからこそ公民館の運営は成り立っているものと思っているが、公民館長は地域から信頼された存在であり、求められることは多い。生涯学習の拠点として公民館は重要な役割を果たしていることから、公民館長の待遇や位置づけを見直してみてもはどうだろうか。

(栗原教育長)

地域のために情熱をもって職務にあたってくれているので、ときにはそれを支え、モチベーションを維持してもらえよう体制を作るのが大切ではないだろうか。

(峰市長)

公民館長は、本来の所掌業務以上に多くの役割を果たされており、その待遇を見直すべきときに来ていることは認識している。地域の期待にしっかりと応えることができるよう、今後の公民館のあり方を検討していきたい。

以下余白